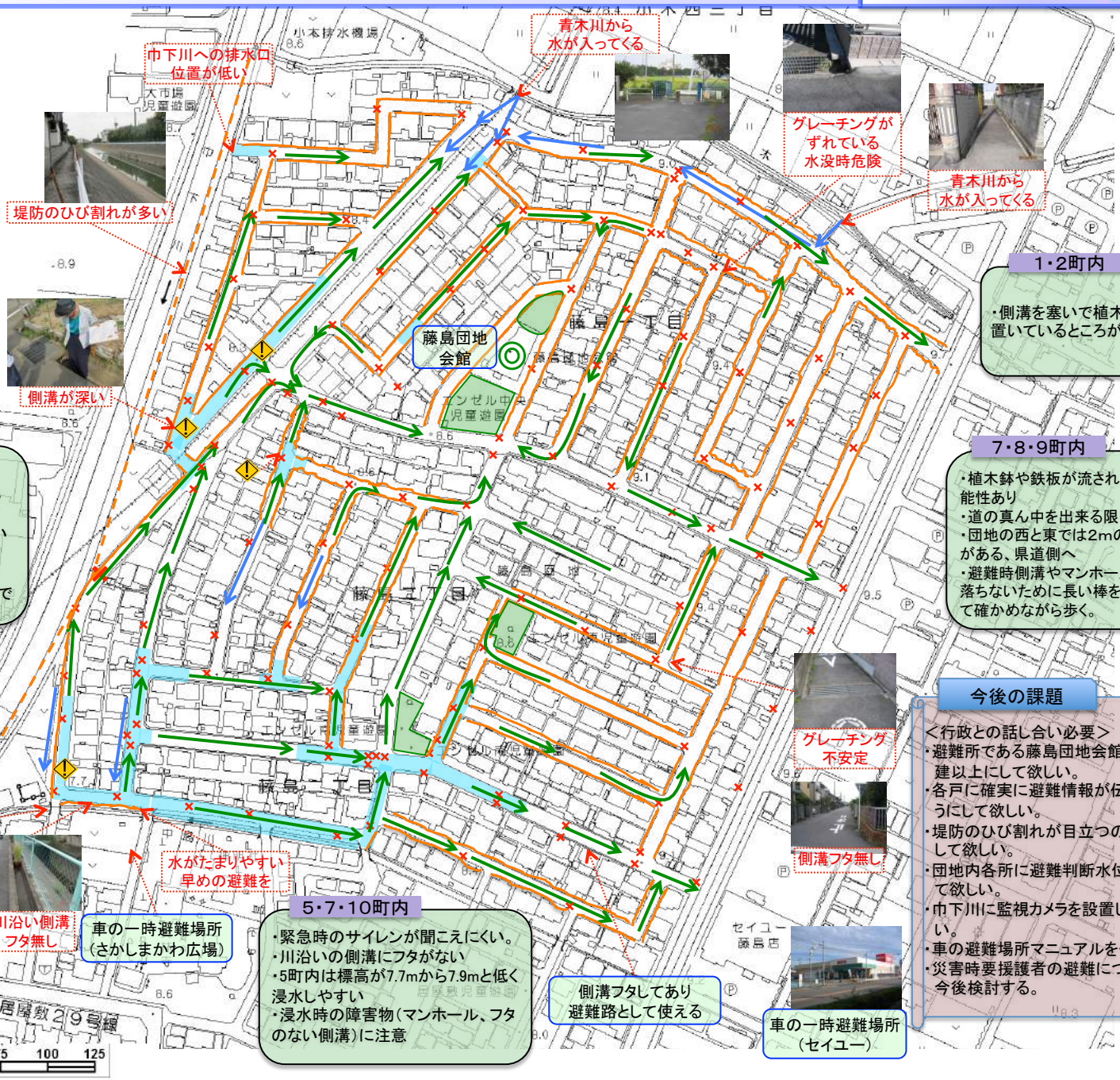
保存版　小牧市藤島団地区　水害手作りハザードマップ

2011年　10月
藤島団地区自治会

東海豪雨（2000年9月11日）藤島団地の被害状況

- 床上浸水：5・6町内で22戸
- 床下浸水：4から7町内を中心に108戸
- 敷地内浸水は全町内で102戸

◎現在、市が公表している洪水ハザードマップは、内水氾濫のみです。巾下川などからの外水氾濫の可能性もありますが、その浸水想定はされていません。
◎江南市や犬山市など上流地域を含め大雨の場合、各自で雨量情報などに注意し、いつもと違う大雨の場合には早めの避難行動をする。



1・2町内

- 側溝を塞いで植木鉢を置いているところがある。

3・4町内

- 植木鉢は水に流れるので注意
- 一人暮らしのお年寄り世帯が多い
- 2階建の建物に逃げる
- サイレンが聞こえにくいので細かい指示が出来ない
- 避難する時は運動靴で逃げる
- 側溝のフタ、せめて危険箇所だけでも欲しい

5・7・10町内

- 緊急時のサイレンが聞こえにくい。
- 川沿いの側溝にフタがない
- 5町内は標高が7.7mから7.9mと低く浸水しやすい
- 浸水時の障害物（マンホール、フタのない側溝）に注意

6町内

- マンホールより噴き出しに注意
- 側溝のフタがないし段差に注意
- 平屋や川沿いの家は早めの避難を心がける。

7・8・9町内

- 植木鉢や鉄板が流される可能性あり
- 道の真ん中を出来る限り歩く
- 団地の西と東では2mの差がある、県道側へ
- 避難時側溝やマンホールに落ちないために長い棒を持って確かめながら歩く。

今後の課題

＜行政との話し合い必要＞
- 避難所である藤島団地会館を2階建以上にして欲しい。
- 各戸に確実に避難情報が伝わるようにして欲しい。
- 堤防のひび割れが目立つので修復して欲しい。
- 団地内各所に避難判断水位を示して欲しい。
- 巾下川に監視カメラを設置して欲しい。
- 車の避難場所マニュアルを作る。
- 災害時要援護者の避難については今後検討する。

凡例

- 避難所 ……
- 水に浸かりやすい場所
- 水が流れ込む方向 ……
- マンホールや段差 ……
- フタの開いた側溝 ……
- 避難路 ……
- 標高（メートル） …… 7.7
- 水が最初にたまるところ
- その他危険箇所 ……